

# 5G × ICT利活用検討会 説明資料

令和元年5月10日  
富山県

- 1 本県の課題
- 2 5Gと本県のICTインフラ整備状況
- 3 本検討会について
- 4 今後のスケジュール

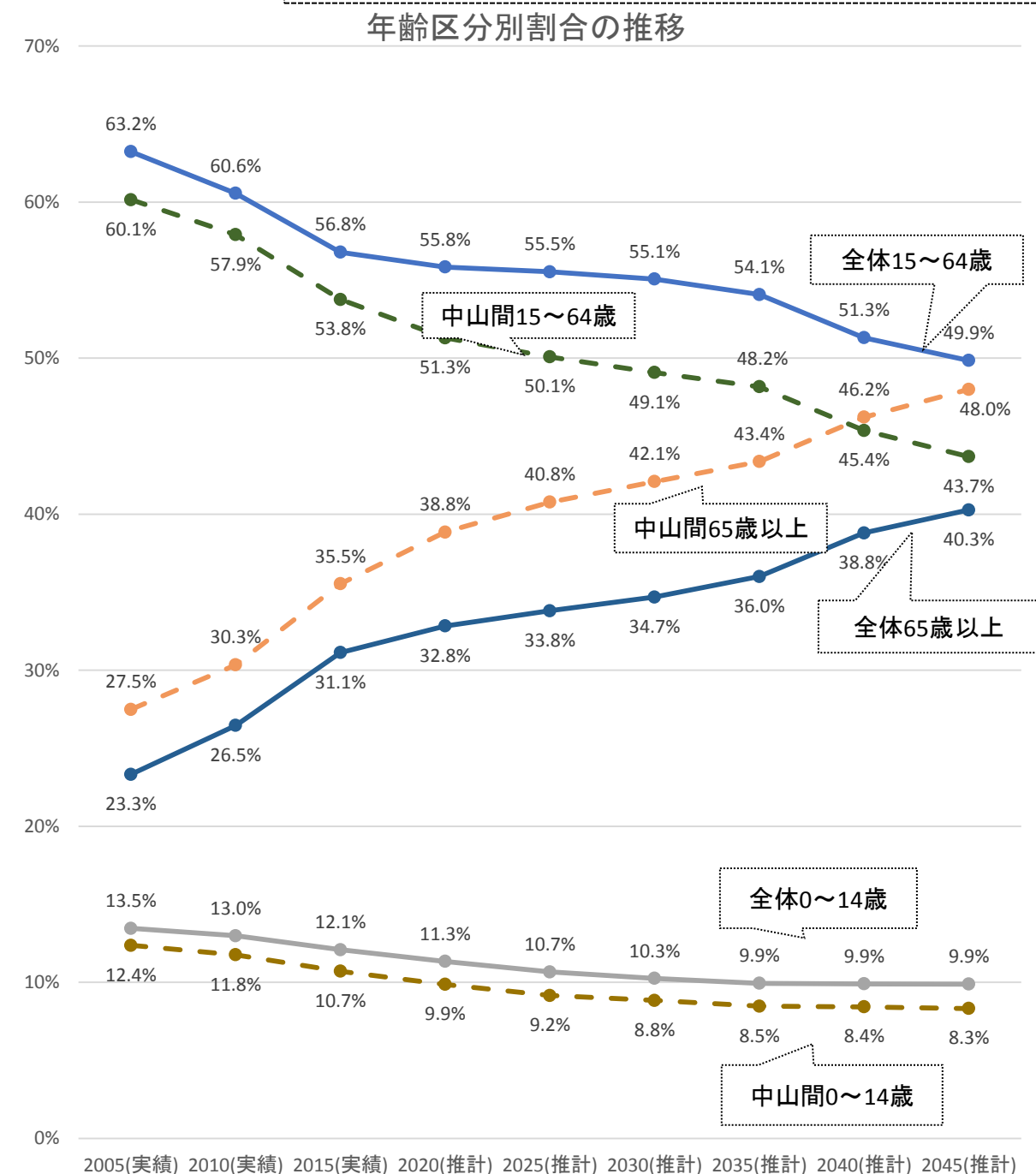
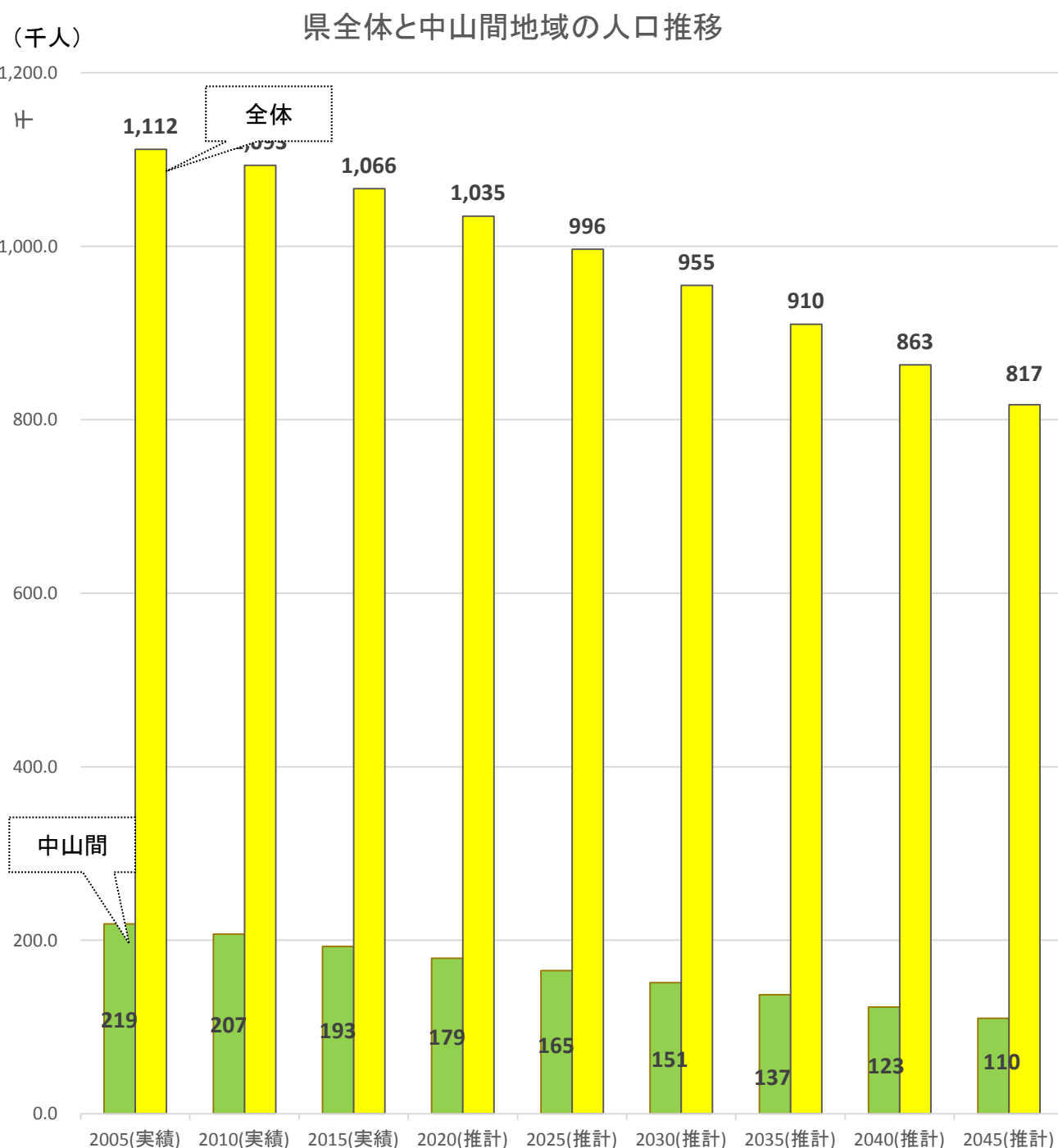
# 1 本県の課題 (1) 人口の推移

本県の人口は1998年(平成10年)をピークに全国よりも約10年早く減少傾向に転じ、2025年には100万人を切ると推計されている。

また、全国を上回るスピードで高齢化が進行しており、2025年には3人に1人、2045年には高齢者が4割を超える見込みであり、こうした傾向は、中山間地域に顕著にみられる。

一方、労働力人口は2015年には既に6割を切っているが、減少割合は中山間地域と県全体ではほぼ同じであることから、中山間地域における若年層の減少が深刻な問題となっていることがうかがえる。

【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」をもとに、2015年農林業センサスの農業集落別に年齢別人口を取りまとめたもの



# 1 本県の課題 (2) 県総合計画における分野別の課題

## 活力とやま

### 産業・雇用

- ・ 第4次産業革命の進展を踏まえた生産性向上や新たな付加価値の創出、IoTやAIなどの普及推進
- ・ 起業や新分野進出、海外展開等への支援強化
- ・ 地域産業の振興や企業誘致活動
- ・ 人手不足分野やものづくり企業のニーズに応じた人材の育成・確保
- ・ 求職者と企業とのマッチングの推進による魅力ある職場の確保や雇用創出

### 農林水産業

- ・ 農地集積の一層の加速化
- ・ 農業経営体の法人化の促進
- ・ 経営の効率化や担い手の育成・確保
- ・ 優良な農業生産基盤の確保
- ・ 生産性・収益性の向上
- ・ 先端的な生産技術の導入
- ・ 6次産業化など付加価値を高める取組
- ・ 農産物・さかなのブランド力向上、国内外の市場開拓

### 交通・物流基盤

- ・ 北陸新幹線の大阪までの延伸による北陸経由で首都圏と関西圏を結ぶ「新ゴールデンルート」の形成
- ・ 県内の広域道路ネットワーク整備や高速道路の利便性向上
- ・ 伏木富山港の集荷力向上や航路の充実、新規物流ルートの開拓、港湾後背地への物流業務施設立地促進、クルーズ客船の受入環境整備
- ・ 羽田便の維持安定化と新規路線・チャーター便開拓

### 観光・まちづくり

- ・ 観光資源の掘り起こしと戦略的プロモーション
- ・ 周遊・滞在型の魅力ある広域観光ルートの形成
- ・ 産業観光を始めとした多彩なツリズムの展開
- ・ おもてなし力の向上
- ・ 豊かな食の磨き上げと発信
- ・ 県産品のブランド力の強化と富山のイメージ向上
- ・ 外国人個人旅行者の受け入れ環境の整備
- ・ 立山黒部の世界ブランド化に向けた取組
- ・ 中心商店街の活性化
- ・ まちなかで快適に暮らせるまちづくりの推進
- ・ 歴史・文化などの地域資源を活かした個性的で魅力的なまちづくり

# 1 本県の課題 (2) 県総合計画における分野別の課題

## 未来とやま

### 結婚・出産・子育て

- ・子どもの健やかな成長を見守るとともに子育て世代の親を孤立させないよう温かく見守り支える地域づくり
- ・多様なニーズに応じた保育サービスの拡充
- ・出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援
- ・仕事と子育てを両立できる職場環境の整備
- ・子育て家庭の経済的負担の軽減
- ・児童虐待の防止

### 教育

- ・探究力や自ら課題を解決できる能力、コミュニケーション能力、論理的思考力を育む教育、能動的な学習の推進
- ・個別の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を提供できる、多様で柔軟な仕組みの整備
- ・県内高等教育機関における地域の課題や社会の要請に応える研究の推進とその成果の地域社会への還元
- ・県内産業への人材供給や若者の県内定着への貢献

### 文化・スポーツ・県民活動

- ・子どもが文化に親しむ機会や県民が文化を鑑賞する機会の一層の拡充
- ・県民が芸術文化活動の創造に参加し、交流する機会の充実
- ・芸術文化人が集う芸術文化の拠点形成
- ・生涯にわたり気軽にスポーツに親しむことができる環境づくり
- ・世界や全国の檜舞台で活躍できるアスリートの育成・強化
- ・NPO団体と行政・県民・企業との連携
- ・男女共同参画や多文化共生に向けた取組

### 魅力ある地域づくり

- ・都市部を中心に移住先としての富山県の魅力の発信
- ・県民が主体となった地域の魅力の発掘・再発見
- ・中山間地域における総合的な地域活性化の取組
- ・多様な活動主体の支援・連携による総合的な地域活性化
- ・県民全体で支える森づくりの推進

## 安心とやま

### 医療・健康

- ・健康寿命を延伸し、県民一人ひとりが心身ともに健康な生活を送ることができる環境づくり
- ・地域における医療と介護のスムーズな連携に向けた体制の充実
- ・身近な地域で質の高い医療提供を担う人材の育成・確保

### 地域福祉

- ・医療、介護、福祉、介護予防、住まい、生活支援サービスが包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築
- ・医療・介護・福祉・就労などに関する相談体制の充実
- ・障がい者の方が地域で安心して暮らすための必要なサービスや就労に向けた支援
- ・身近な地域で質の高い介護・福祉サービスを担う人材の育成・確保、職場への定着

### 環境・エネルギー

- ・県民総ぐるみでの3R、節電・省エネルギー、環境教育への取り組み
- ・環日本海地域における国際環境協力の推進
- ・自然環境の保全に配慮した適正利用のための取り組み
- ・本県の地域特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入と新エネルギー（水素など）の活用推進

### 安全・安心な暮らし

- ・様々な危機事案に対して迅速かつ適切に対応できる防災・危機管理体制の整備
- ・県民の防災意識高揚と災害に強い県土づくり
- ・地域の防犯活動の一層の充実と新たな犯罪から県民を守るための取り組み
- ・高齢者の交通事故防止対策
- ・自動車を運転できない方の日常生活を支える地域公共交通サービスの確保、充実
- ・消費者トラブルを未然防止するための消費者教育

## 人づくり

### 子どもの健全育成

- ・ 想定外の事象に果敢に立ち向かう能力を育成するための、体験的・能動的な学習の推進
- ・ 知識重視に偏重しないバランスのとれた学力、探究力や課題解決能力、科学的・論理的思考力の育成
- ・ 社会人としての職業観や勤労観等を備えた人材育成
- ・ ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切に社会に貢献できる人材の育成

### 若者の成長と自立、社会参加

- ・ 若者の円滑な就職支援
- ・ 体系的なキャリア教育やグローバル教育
- ・ フリーターやニート等の若者の自立に向けた総合的な支援
- ・ 若者労働者の職業意識醸成と職業能力向上
- ・ 若者による地域の防災・防犯活動、地域づくりやボランティア活動での活躍
- ・ 生命の尊さや結婚・家庭の持つ意義についての理解を深めるとともに、出会いの場の提供などの支援

## 女性の活躍

- ・ 男性中心の働き方を前提とする長時間労働の是正や柔軟で多様な働き方などの推進
- ・ 女性が安心して働き続けられる環境づくり、再就職支援
- ・ 女性のキャリアアップや管理職への積極的な登用、次代を担う女性研究者等の育成

### 働き盛りの能力発揮

- ・ 労働者のスキルアップ、キャリアアップができる仕組みづくりと労働生産性の向上に向けた取組
- ・ 個性や能力に応じた多様な働き方ができるような働き方改革の推進
- ・ 地域活性化を担う人材が育つ環境づくり
- ・ 「貧困の連鎖」の防止

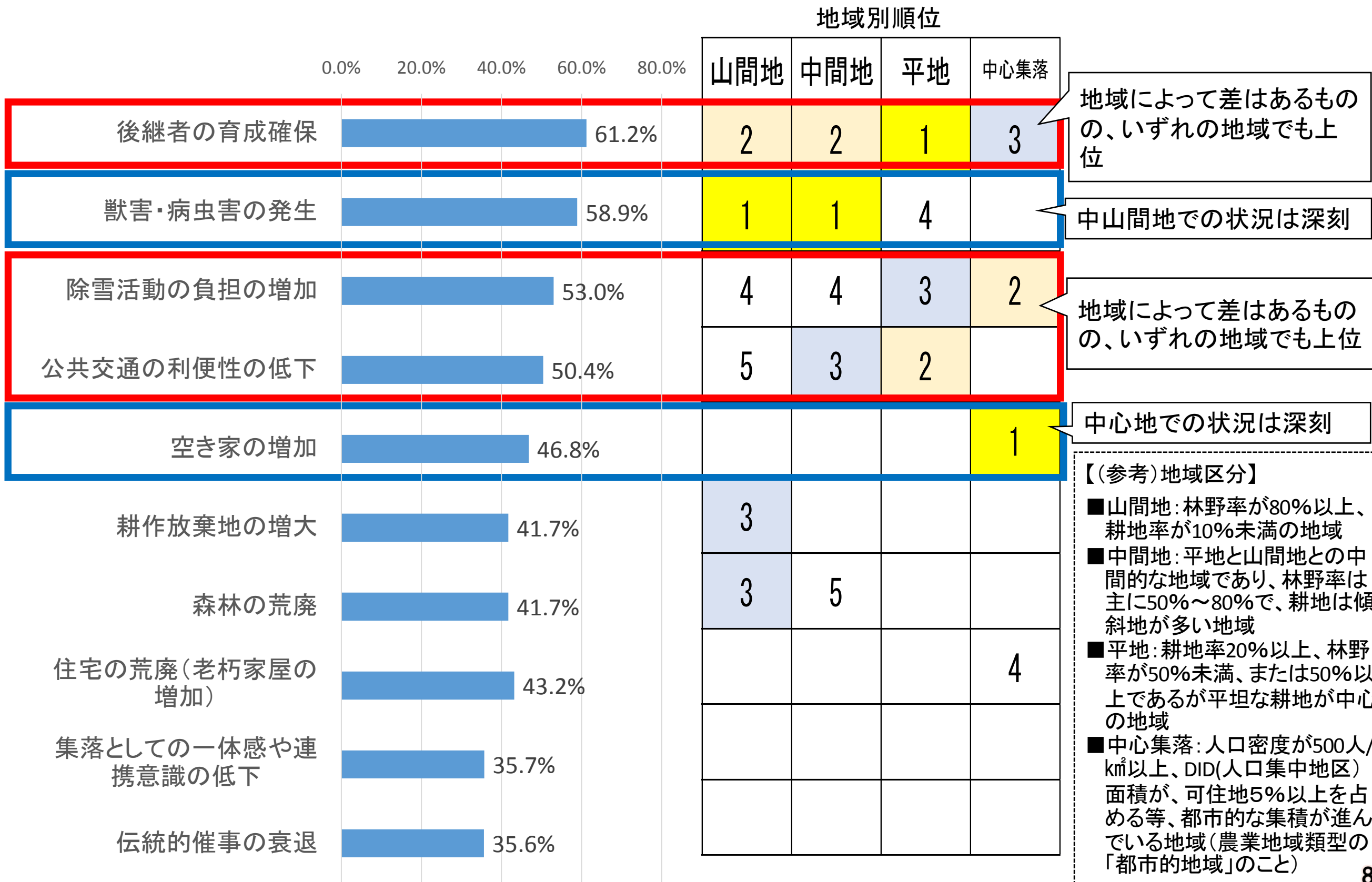
### 高齢者の生きがいと社会貢献

- ・ エイジレス（生涯現役）社会の実現
- ・ 高齢者の就労支援と働きやすい環境整備
- ・ 高齢者が生きがいを持って生涯学習・スポーツ・地域活動に取り組む環境づくり
- ・ 後継者の確保・育成と高齢者が長年培ってきた知識や経験・技能の次世代への継承

# 1 本県の課題 (3) 中山間地域における課題

暮らしにおいて困難が生じていること

(「富山県の中山間地域における集落の生活状況等に関する実態調査」(平成30年6～8月調査)より)







# 1 本県の課題 (4) ICTインフラの整備・利活用による課題解決

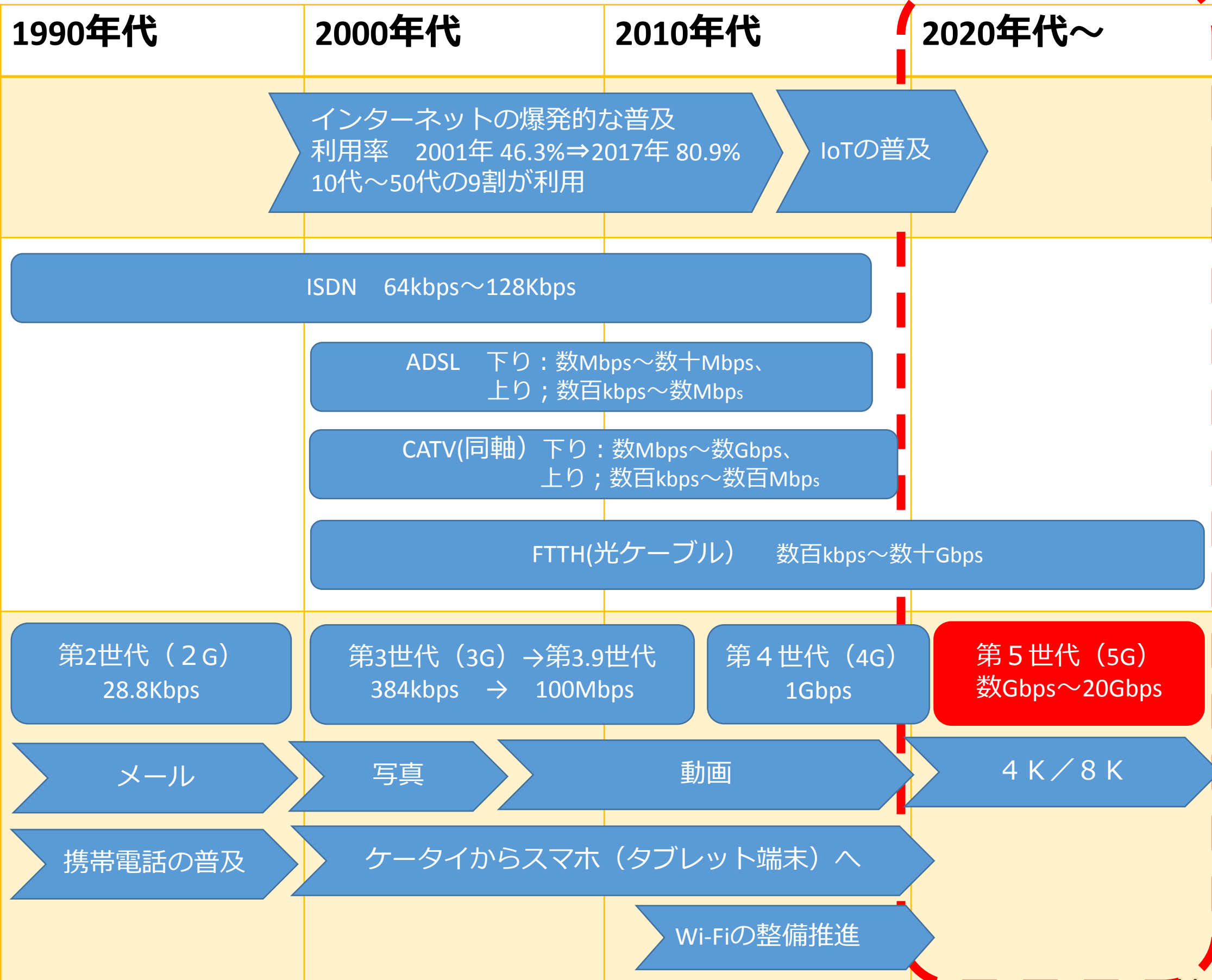
分野	課題	課題解決に向けたICT利活用策(例)
ものづくり産業	本県企業が有する高い技術力のもと、第4次産業革命の技術革新を活用した生産性の向上や新たな付加価値の創出	<p>・IoT・AIの導入促進による生産性の向上</p> <p>・「富山県IoT推進コンソーシアム」の設置(平成29年9月) 【県IoT導入モデル事業費補助金を活用した取組事例】</p> <p>顧客の店内動線や滞在時間を分析し、最適な商品配置を実現</p> <p>作業時間の見える化による人員配置最適化</p>  <p>ICカードにより作業員ごとの作業時間を把握し、能力や習熟度をデータ化。データを分析し、作業工程の配置換えや作業員の訓練・教育を実施。</p>
農業	農業従事者の高齢化や人手不足	<p>・農業機械の遠隔操作、水管理の自動化、ハウス内の温度・湿度管理の自動化</p> <p>【県内での取組事例】</p>  <p>ドローンによる農薬散布(上市町をはじめ県内各地において導入)</p>  <p>自動給水栓(富山市八尾町、射水市をはじめ県内各地において導入(今年度設置予定を含む))</p>
	野生鳥獣による農作物被害の防止に向けた総合的な対策の推進	<p>・獣検知・罨捕獲センサーを活用した有害鳥獣情報の把握による効率的・効果的な鳥獣被害対策</p>
観光	富山らしい魅力ある観光資源の戦略的なプロモーションの推進	<p>・臨場感のあるコンテンツ(VR/AR、高精細映像など)による誘客</p>
医療	地域間での医師の偏在、特定の診療科(小児科、産科等)における医師の不足	<p>・総合病院と地域の病院・診療所を接続した遠隔診療</p>

# 1 本県の課題 (4) ICTインフラの整備・利活用による課題解決

分野	課題	課題解決に向けたICT利活用策(例)
防災・減災	危機事案に対して迅速かつ適切に対応できる体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローン等の現場映像をリアルタイムに伝送</li> <li>・災害現場における人型ロボットの遠隔操作</li> </ul> <p>【県内での取組事例】</p> <p>県原子力防災訓練におけるドローンによる被災状況調査訓練(氷見市) (H30(2018).11)</p> 
地域公共交通	高齢者など自動車を運転できない方々の日常生活(買い物、通院等)を支える地域公共交通サービスの確保・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転技術を活用した地域公共交通サービスの導入</li> </ul> <p>【県内での取組事例】</p> <p>道の駅「たいら」(南砺市)における自動運転サービス実証実験 (H29(2017).11)</p> 
人材確保、働き方改革	<p>若者の県内定着につながる魅力ある職場の確保、就業継続しやすい職場環境の整備</p> <p>建設業従事者の減少・高齢化を踏まえた働き方改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの活用</li> <li>・サテライトオフィスの整備</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローンによる3次元測量</li> <li>・建設機械の遠隔操縦</li> </ul>

これまでもICTの利活用によって一定程度、課題解決が行われてきているが、2020年に実用化される5Gや光ファイバなどのICTインフラを活用することにより、県内産業の振興や地域の活性化、県民生活の質のさらなる向上が期待される。

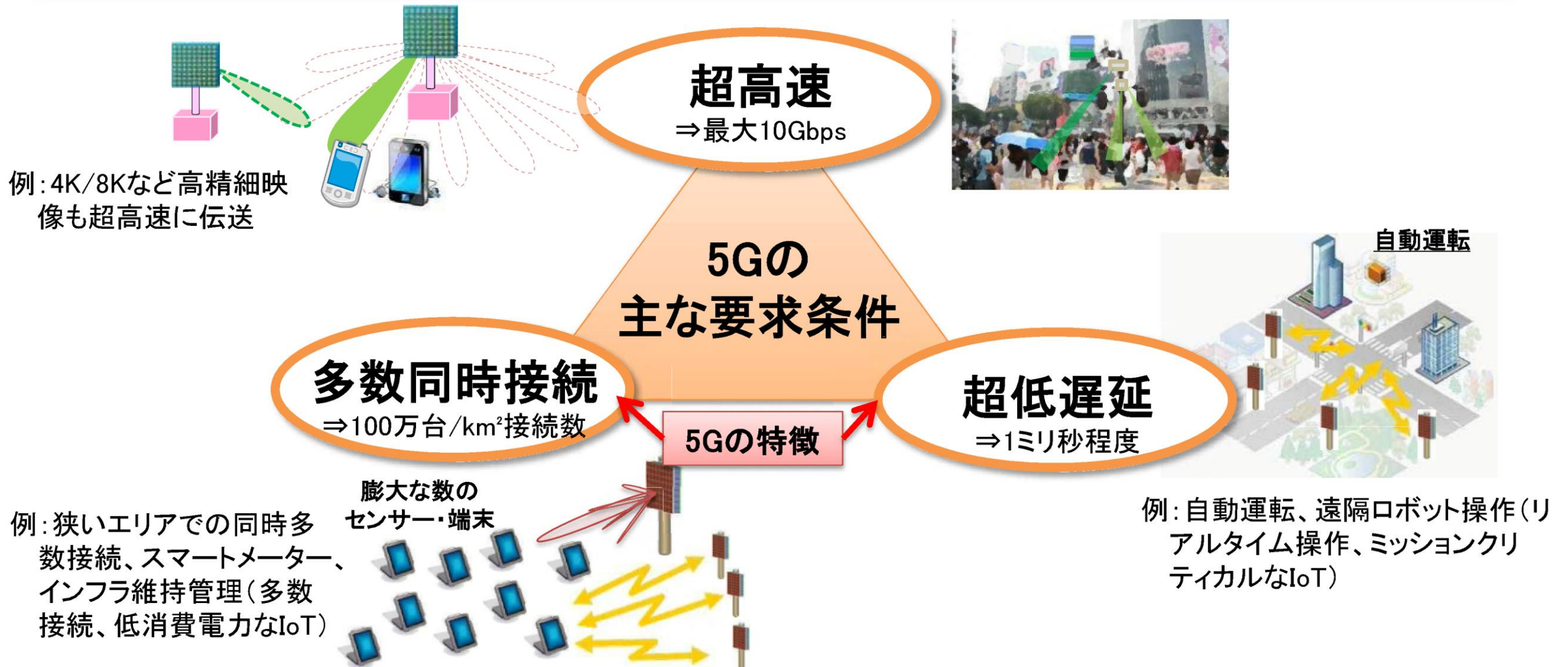
# 2 5Gと本県のICTインフラ整備状況



【出典】総務省中国総合通信局開催「5G利活用セミナー」(H30.12.18)資料

## 5Gとは何か①

- 最高伝送速度 10Gbps (現行LTEの100倍) : 超高速
  - 100万台/km<sup>2</sup>の接続機器数 (現行LTEの100倍) : 多数同時接続
  - 1ミリ秒程度の遅延 (現行LTEの1/10) : 超低遅延(リアルタイム)
- IoTの基盤技術として期待



出典: 日経コミュニケーションズ 2015/4月号

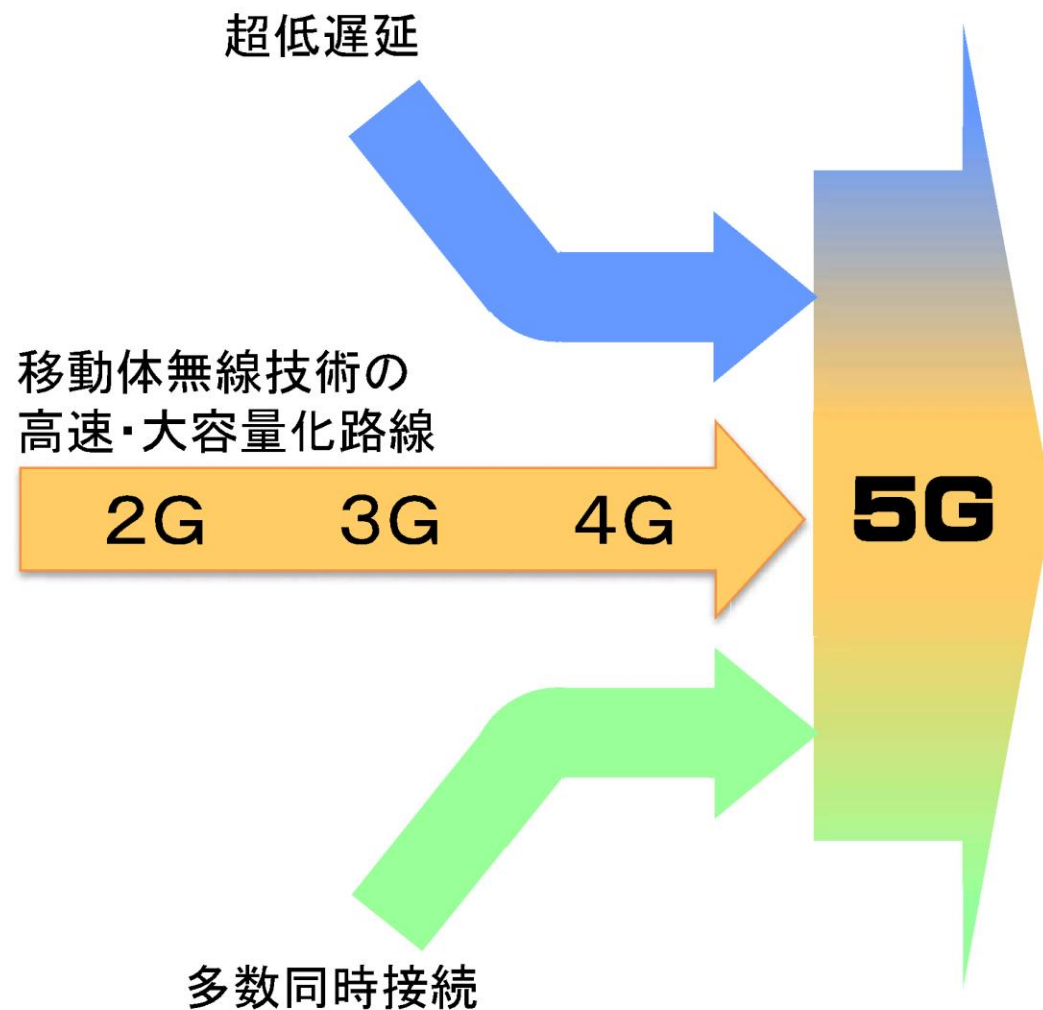
【出典】総務省中国総合通信局開催  
「5G利活用セミナー」(H30.12.18)資料

## 5Gとは何か②

5Gとは、4Gを発展させた「超高速」だけでなく、「多数接続」、「超低遅延」といった新たな機能を持つ次世代の移动通信システム

- ・「多数接続」
  - ・「超低遅延」
- ⇒ 家電、クルマなど、身の回りのあらゆる機器(モノ)がつながる  
遠隔地においてもロボット等の操作をスムーズに行うことができる

### 5Gは、IoT時代のICT基盤

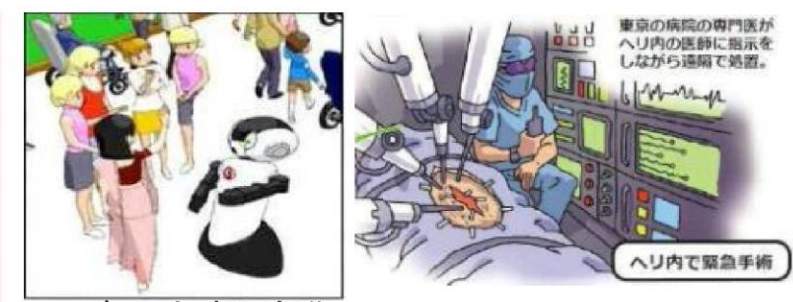


**超高速**  
現在の移动通信システムより100倍速いブロードバンドサービスを提供



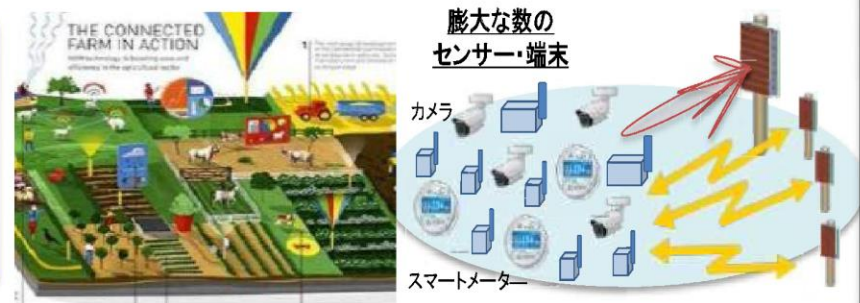
⇒ 2時間の映画を3秒でダウンロード

**超低遅延**  
利用者が遅延(タイムラグ)を意識することなく、リアルタイムに遠隔地のロボット等を操作・制御



⇒ ロボット等の精緻な操作をリアルタイム通信で実現

**多数同時接続**  
スマホ、PCをはじめ、身の回りのあらゆる機器がネットに接続



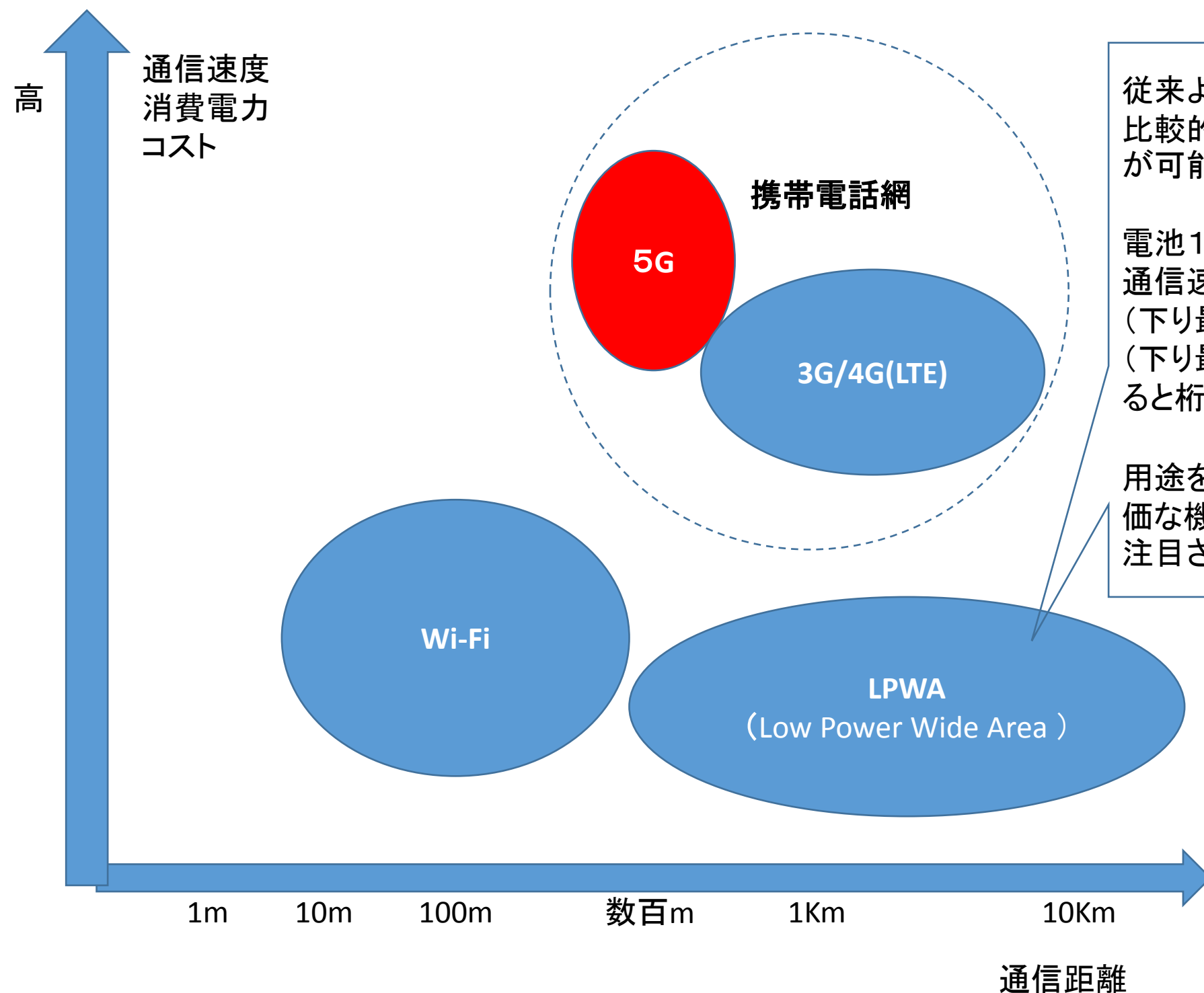
⇒ 自宅屋内の約100個の端末・センサーがネットに接続  
(現行技術では、スマホ、PCなど数個)

社会的なインパクト大

## 2 5Gと本県のICTインフラ整備状況

ICTインフラの整備においては、費用対効果を踏まえたうえで、用途に合ったものを選択することが重要。

### 無線通信システムの比較



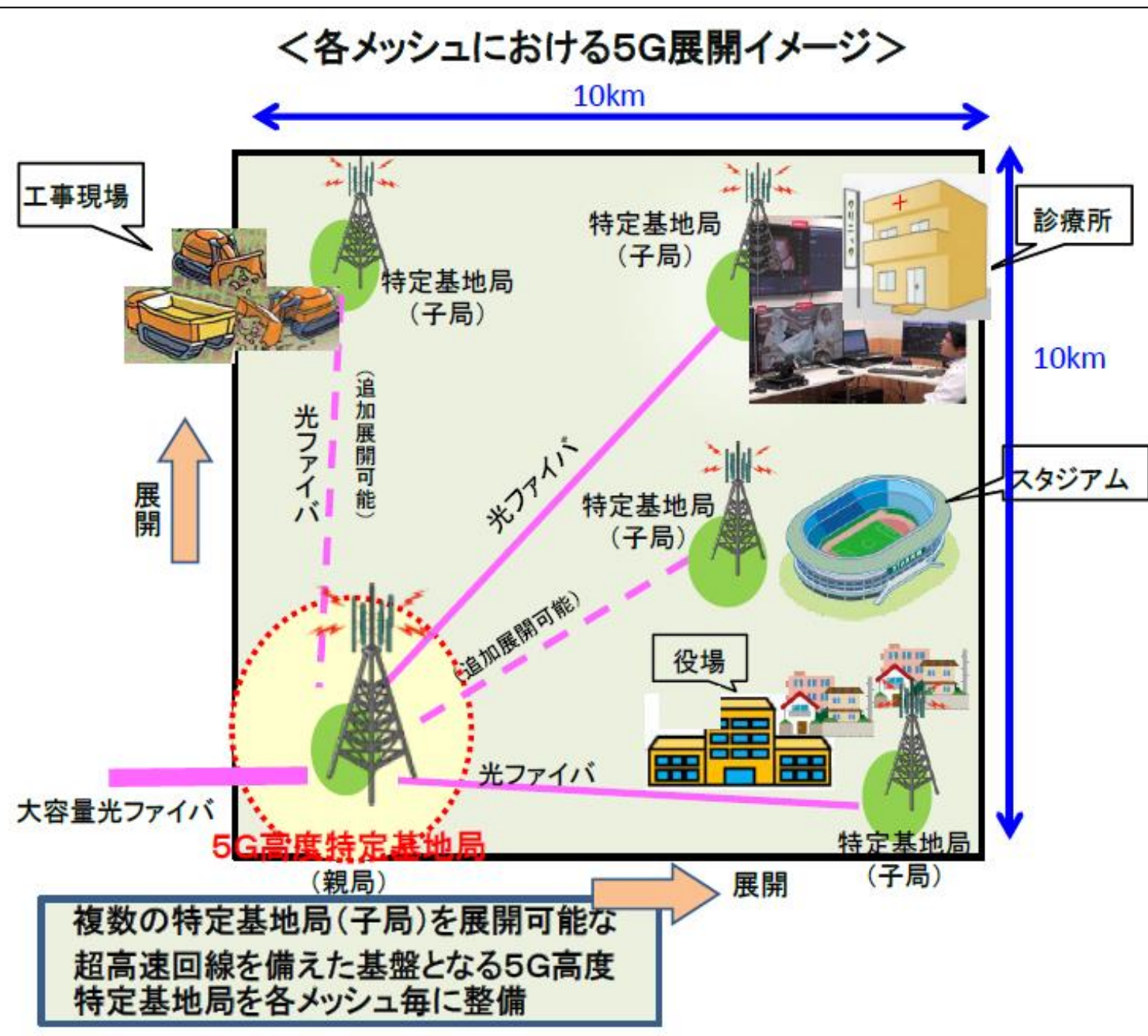
従来よりも電力消費量が低く、一つの基地局で比較的広い範囲(数キロメートル程度)での利用が可能な無線通信技術の総称。

電池1つで1年以上の通信が可能であるが、通信速度は100bps～数十kbps程度であり、3G(下り最大14.4Mbps/上り最大5.76Mbps)/LTE(下り最大150Mbps/上り最大50Mbps)と比較すると桁違いに遅い。

用途を絞り込めば、圧倒的な低消費電力かつ安価な機器で広域での通信が可能であることから注目されている。

## 2 5Gと本県のICTインフラ整備状況

5Gを利用するためには光回線(光ファイバ)が必須。光回線の整備については、民間事業者が商業ベースで市街地を中心に進めており、農山村地域等不採算エリアでは目途が立たない地域がまだ数多く存在する。



本県の光回線  
整備状況  
(世帯カバー率)  
【H30.3月末現在】

95.4%

全国 98.3%

(総務省調査結果)

【出典】「第5世代移動通信システム導入のための特定基地局の開設に関する指針について」(H30.12 総務省総合通信基盤局資料)より抜粋

# 3 本検討会について (1) 国における5Gをめぐる状況

## ○総務大臣メール「Society5.0時代の地方」

都道府県知事  
市町村長  
特別区区长様

「Society5.0時代の地方」発刊に当たって

多くの首長の皆さんにとって、「持続可能な地域社会の構築」は、喫緊の課題と感じられておられると思います。また、東京一極集中も、生活の質の悪化や、大規模な災害時のリスクを考えると取り組むべき課題です。これは難しい課題であり、これまで部分的にしか成功は見られていないと思います。

しかし、私は、最近「持続可能な地域社会の構築」に不可欠な、地域の働く場や生活支援サービスそして担い手の確保に必要な、2つの明るい兆しが見えてきたと思います。

①「生活環境を変えたい」という若者の意識の変化です。昨年ふるさと回帰支援センターには過去最高の約4万件の相談がありましたが、20代30代で50%を超え、40代を含めると70%を超えました。また、ある研究者の調査によれば東京・神奈川・大阪からの地方移住希望者は家族を含めて100万人を超えるそうです。この変化を、地域の担い手の確保に活かさない手は無いと考えています。

②Society5.0で象徴されるAI・IoTやロボティクスなどの革新的な技術です。政府では、狩猟社会・農耕社会・工業社会・情報社会に次ぐ、第5の社会を意味する「Society5.0」の実現を目指しています。図のように、革新的な技術を様々な分野に展開して、あらゆる分野で、現在とは全く異なる社会を実現しようとするものです。多言語音声翻訳機のようにすでに実用化されている技術で地方を大きく変えるものがあり、今後の進化で地方をさらに大きく変えていくと考えられます。

日本のどこからでも世界とつながって仕事ができ、また日本のどこでも教育や医療など必要な生活支援サービスを利用できる社会が実現しようとしています。

<Society5.0のイメージ図>

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000595650.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000595650.pdf)

このトレンドへの対応によっては、都市間格差・個人間格差が取り返しのつかないほど大きくなる可能性があるだけに、何としてでも地方にとってチャンスにして行かねばなりません。

以上のようなことから、総務省内に「地域力強化戦略本部」を立ち上げ、この1月から「Society5.0時代の地方」をキーワードとして、革新的技術の実装例や導入支援策を首長の皆さんと共有し、また皆さんから優良事例や必要な施策の提案などをいただくなど双方向かつ持続的なやり取りを行うということで、Society5.0の進化に伴う「持続可能な地域社会の構築」を目指したいと考えています。

また、皆様の直面する課題にあわせて、是非こうしたすぐにも導入可能な革新的技術の導入を検討するきっかけとして頂きたいとの思いで、このメールマガジンを発行することとしました。皆様からも、末尾の連絡先まで、是非、ご意見や、導入して成功した例などをお寄せ頂きたいと思います。

平成31年1月25日  
総務大臣 石田 真敏

○革新的技術の実装が地域を変える！（実装例）

①「言葉の壁解消！」（多言語音声翻訳）

訪日外国人とスムーズなコミュニケーションを実現するツールを紹介！

（→こちらをクリック）

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000595976.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000595976.pdf)

②「空から効率的に情報収集！」（ドローン）

様々な場面で活躍するドローンの可能性を展開！

（→こちらをクリック）

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000595977.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000595977.pdf)

③「人より早く、詳しく感知！」（センサー）

センサーで地域の課題を解決！

（→こちらをクリック）

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000595978.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000595978.pdf)

④「Society5.0を支える基盤！」（5G）

5Gって何？可能性ある5Gの全国展開へ！

（→こちらをクリック [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000595979.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000595979.pdf)）

※首長に必ずお届けください。

※こちらのHPもご覧ください。

（→こちらをクリック）

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/singi/chiiki\\_honbu/daijin\\_mail1\\_01.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/chiiki_honbu/daijin_mail1_01.html)

※革新的技術の実装例、各自治体の先行事例のご紹介やご意見・ご提案等ありましたら、以下までご連絡いただけますと幸いです。

宛先： 総務省地域力強化戦略本部  
（事務局：地域力創造グループ地域政策課）

メールアドレス： [society5.0@soumu.go.jp](mailto:society5.0@soumu.go.jp)

TEL： 03-5253-5523

（担当：東理事官、田中係長、岸事務官）



# 3 本検討会について (1) 国における5Gをめぐる状況

「ICTインフラ地域展開戦略検討会最終とりまとめ概要」(H30.8) (抜粋)

## 成長戦略等におけるICTインフラに関連する記載について

すべて平成30年6月15日閣議決定

### 未来投資戦略2018

第2 II. [1] 1. (3) iii) 新たな技術・ビジネスへの対応

⑤ Society 5.0を支える通信環境の整備

- ・ Society 5.0の社会実装を地域においても加速させるため、その基盤となる5Gや光ファイバ網等の地域展開、Wi-Fi環境整備、ケーブルテレビネットワークの光化等の通信環境の高度化を推進するとともに、Beyond 5G等の次世代ワイヤレスシステムの実現のための技術開発や環境整備、人材育成、優れたワイヤレスシステムの海外展開等に取り組む。
- ・ このため、本年夏頃までに必要な技術基準を策定した上で平成31年3月末頃までに周波数割当てを行って5Gの地方への速やかな普及展開を推進するとともに、5GやIoTなどの高度無線環境を支える光ファイバ網等の整備の在り方について検討を行い、本年夏頃までに結論を得る。

### 経済財政運営と改革の基本方針2018

第2章 2. (4) 経済構造革新への基盤づくり

① データ駆動型社会の共通インフラの整備

大容量・高速通信を支える5Gについて、本年度末に周波数割当てを行い、民間事業者による基盤整備を促進し、2020年からのサービス開始につなげるなどの基盤システム・技術への投資の促進を図る。

また、AI時代に対応した人材育成と人材の最適活用が図られるよう教育改革と産業界等の人材活用の面での改革を進め、リカレント教育を大幅に拡充する。

さらに、イノベーションを生み出す大学改革と産学官連携の強化に取り組む。

### 世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画

第1部 III 1.(4) 5G等のネットワーク基盤技術

(前略) 既存の無線ネットワークである4Gから5Gへの円滑な移行を実現する。あわせて、新たな5G等の利活用モデルの開拓や、高度無線ネットワークを支える光ファイバ網の整備等のICTインフラの地域展開を促進し、ICTによる地域の課題解決・活性化や経済成長に貢献する。

第2部 II ○[No.6-1] 条件不利地域等におけるICTインフラの整備・確保の推進

- ・ これまで、条件不利地域を有する地方公共団体が、超高速ブロードバンド基盤を整備・確保するための支援を実施し、固定系超高速ブロードバンドゼロ自治体は減少しているが依然固定系超高速ブロードバンドや、Society 5.0実現の前提となる無線環境の利用が困難な地域が残存。
- ・ 今後、平成30年度中に別途定める整備方針に基づき、条件不利地域において、地方公共団体が、固定系超高速ブロードバンド基盤や、多様な高速大容量の無線システムの前提となる伝送路を整備・確保するための支援を引き続き行う。
- ・ これにより、ICT利活用に関する地域間格差を縮小。

### まち・ひと・しごと創生基本方針2018

2. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

(4) 近未来技術等の実装

◎近未来技術等の実装による新しい地方創生

・ 例えば平成32年に実用化が見込まれる、超高速・多数接続・超低遅延の通信を実現する第5世代移動通信システム(5G)を活用し、地場産業の興隆や各種の地域課題の解決を行うことで新しい地方創生を実現する。このために5Gの地域への展開、課題解決に向けた様々な実証を平成30年度も実施し、地方・全国展開のモデルとして幅広く提示する。また、5Gなどの高度無線環境を支える光ファイバ網等の整備の在り方について検討を行い、本年夏頃までに結論を得る。

◎自由民主党富山県議会議員会 中山間地域振興対策推進本部提言  
(平成30年11月19日)

「中山間地域の新たな対策 ―人口減少下における持続可能な  
社会の形成に向けて―」(抜粋)

第2 中山間地域対策推進の新たな枠組み

Ⅱ 推進体制の強化と支援の充実等

8. イノベーションによる課題解決

- I o T、A I、ロボット等の技術を大胆に取り入れるなど、革新的な技術やビジネスモデルの活用による地域課題の解決を模索すること。
- 第4次産業革命を導入・試行するためのフィールドとして、中山間地域を積極的に活用することで、住民や地域が本来持っている能力を最大限に引き出し、多彩な暮らしを実現すること。
- 第5世代移動通信システム(5G)は、高齢者のモビリティ確保、人手不足の緩和、防災など様々な地域課題の解決に不可欠な基盤として期待されており、5Gの中山間地域への速やかな普及展開を推進すること。

### 3 本検討会について (2) 本県における5Gをめぐる状況

◎平成31年2月議会定例会 3月7日 予算特別委員会

【自民党 宮本光明委員】

5Gの基地局整備については、民間主導で行うと都市部が優先され、地方は後回しとされることが懸念されるため、全国知事会とも連携し、国や通信事業者に対し、地域間の偏在性の小さい基地局整備や利活用に対する財政支援の創設等を働きかけるべきと考えるが、所見を伺う。

国でも都市部を中心とした円形ではなく、都市部から中山間地域に至る楕円状のエリアで整備を進めないと都市と地方の格差は拡大する。都市と地方の格差是正に実績のある知事に5Gについても全国知事会での議論をリードすることを期待する。

【知事】

5Gの利活用は、人口減少・人手不足への対応を急ぐ必要がある地方においてですね、中山間地域を含めてこれは大きな可能性を秘めていると思います。従いまして、県としましては、地方創生・中山間振興の更なる飛躍に向けて5G・ICTの利活用は重要なテーマの一つと捉えて、鋭意検討を進める方針でございますけれども、(略) 5Gの利活用の前提となる地域間の偏りのない5Gの基地局とその間を結ぶ光ファイバー網の早期の整備、また、国や通信事業者による財政支援等の課題については、本県のみでなく全国共通の課題でもございますから、全国知事会においても議論して、政府・与党に提言していくことが重要ではないかと思っております。

(略) 都市と地方が支え合う社会の構築に向けた方策の有力な手段でないかということで、(略)、全国知事会に「5G利活用に関するPT」を新たに設置するなどいたしまして、ちょうど今年7月に本県で全国知事会議が開かれますから、そこでなんとか提言をまとめて政府・与党や通信事業者等に要請してはどうかということ、会長は今埼玉県の上田知事でありますから、そういった皆様ともいま協議・調整を始めております。

(略) 「5Gの利活用」ということを重要テーマとして、できれば、富山から全国に発信するという方向で進めて行きたい。(略)

- 1) 地域課題解決のための5Gや光ファイバ等ICTインフラの活用アイデア
- 2) 地域課題解決のためのICTインフラ利活用の方向性
- 3) ICTインフラを活用した地域課題を解決するための新たな戦略

※5G基地局や光ファイバ等ICTインフラ整備に向けた検討事項

⇒全国知事会で検討、政府・与党・民間通信事業者へ提言

- ① 地域間の偏在性の小さい5G基地局、光ファイバ網の整備
- ② 5G・ICTインフラの地域展開に対する国の財政支援
- ③ 5G・ICTインフラの地域展開に対する技術支援

5月 第1回検討会（事例紹介、意見交換）

7月 視察

10月 第2回検討会

来年3月 第3回検討会

※次年度以降は年2回程度開催